

【記録】新文化会館の整備検討に関する報告・意見交換会について（利用団体）

|      |  |
|------|--|
| 会議名  | 新文化会館の整備検討に関する報告・意見交換会   |
| 日時   | 令和5年7月11日（火）、12日（水）、20日（木）<br>※各回1時間半程度実施  |
| 会場   | 飯田文化会館   |
| 主催   | 文化会館   |
| 共催   | 飯田文化協会   |
| 対象   | 文化会館利用団体<br>(伊那谷文化芸術祭の出演団体を中心に75団体へ案内)   |
| 出席者数 | 延べ出席者数 20人／ ※17団体に所属<br>(合唱8、演劇3、舞踊3、楽器2、ダンス2、ミュージカル1、マジック1)<br>内訳： ①7/11 昼 4人、②7/11 夜 6人、③7/12 昼 5人、<br>④7/12 夜 0人、⑤7/20 夜 5人 |

当日次第

新文化会館の整備検討に関する報告・意見交換会 次第

日時 令和5年7月11日・12日・20日

主催 飯田文化協会・飯田文化会館

場所 飯田文化会館

基本理念（仮）：みんなが集い、創り伝える感動の飯田ひろば

1 あいさつ

(1) 飯田文化協会

(2) 飯田文化会館

2 報告

(1) 新文化会館の整備検討状況について

資料…ニュースレター第1号～第5号、toi toi toi! (情報誌)

資料No.1 …R4年に実施した利用団体アンケート結果（主な意見）について

3 意見交換 (1) 意見交換 「新しい文化会館の基本構想に向けて」

【主な意見】 ※開催日ごとの記録と当日の資料は後段に記載

1 施設の規模や設備充実 ※利用団体が一番関心を寄せている内容

- ・規模と設備に満足できる施設となることを希望
- ・音楽に適したホールの建設を希望する（ゆとりのある座席、音響）
- ・音響やステージの拡張なども考慮して欲しい
- ・舞台と控室、楽屋等にモニターがあって運営できる環境を整えて欲しい
- ・高品質の施設にして欲しい
- ・防音をしっかりして欲しい
- ・舞台（ステージ）にお金をかけて欲しい
- ・舞台機構の充実が必要（奥舞台が必要）
- ・舞台の設備や照明の充実が重要（特に照明）
- ・舞台の広さは重要で、舞台裏が広いことも必要
- ・舞台裏がないと演出（表現）も限られるので、十分なスペース（袖、裏）を希望する
- ・劇場のステージの広さは大丈夫だが、舞台裏が不足している（ダンス）
- ・音楽の響き方が重要であり、使いやすさと音楽的なレベルのバランスが必要
- ・ピアノの発表会に適した音楽向きの小ホールが必要
- ・多目的ホールの設計には懸念がある  
（音楽の専門の立場からとしては、多目的は無目的となる恐れがある）
- ・多目的ホールとして大ホールは多くて1500人の客席と考えるが、音楽を発表する立場からすると300～500席のホールも欲しい
- ・現文化会館のホールは、私たちの演劇団体には少し広すぎる 人形劇場も使うが少し小さく、県の文化センターのホールか旧市公民館のホールがサイズとして使いやすい
- ・舞台は、非日常の場所であり、子供たちにとって想像力を育む場所となるため、発表のための質の高い小ホールが必要
- ・新しい小劇場や広い舞台スペースとなることを期待している（演劇）
- ・コンサート後の交流や感想を共有できる場の必要性を感じる
- ・トイレの充実を希望（日本武道館とかハイウェイオアシスみたいなトイレが望ましい）
- ・会館の機能として周りに公園を作るなど、他の先発のホールから学べる点はあると考える

2 創造活動、練習の場として

- ・どの活動団体も稽古場や舞台と同じ広さのリハーサル室を必要としていると感じる
- ・ダンススタジオのような練習室を希望する（多岐にわたるジャンルのダンスの練習）

- ・現在の文化会館の部屋（展示室、会議室）はダンス系には不向きと感じている  
（床の硬さや、広さ）
- ・ダンスは防音対策が必要（他の部屋への配慮） 何人もが同時にステップを踏むと、階下等に響く大きな音が出る 床の堅さ以上に重要であると考えている
- ・ダンスには、床まで見える鏡が必要
- ・練習の時に自分たちで使える（接続できる）音響設備を希望する
- ・大きな音でも他の人に迷惑がかからない防音施設が欲しい
- ・小規模のレッスンや練習に使えるスタジオも欲しい
- ・館内に工作室を設けて、「創る」ことを支援することが大切
- ・過去には、演劇宿でプロの先生たちが舞台演出や舞台装置を手伝ってくれた  
（工作室ができるきっかけとなった）
- ・工作室は舞台製作のために必要であると感じた

### 3 魅力発信

- ・伝統芸能など地域の魅力がわかるコーナー（空間）があるといい
- ・飯田、下伊那の良さやをアピールする会館になって欲しい
- ・将来的にはレストランやテナントが入る会館を検討してほしい
- ・フリーマーケットや交流イベントを定期的を開催すると良い
- ・図書館を併設して、人形浄瑠璃等の伝統芸能の資料や映像が見られると良い
- ・魅力的な要素があれば、観客や地元の人々も利用できる
- ・イベント時だけでなく、立ち寄ることができる施設、滞在できる空間が欲しい
- ・飯田らしい文化会館になってほしい  
（景色や空気などの外の環境を内部に取り入れられるように）
- ・施設に子供が遊べるスペースや子育て支援のための機能があると良いと思う  
（子どもの情操教育にもなる）
- ・イベント時だけでなく、立ち寄ることができる施設、滞在できる空間が欲しい

### 4 施設の場所

- ・適切な場所を工夫して決定して欲しい
- ・丘の上には文化的な施設が集積されているのでそれらを活用しないのはもったいない
- ・様々な公的な施設がある場所で、お年寄りや子どもが集える場所や音楽会が開かれる場所など、文化の香りがする環境が望ましい
- ・子どもたちが行きやすい場所につくって欲しい

- ・まちの活性化を促す建物としては、丘の上に造ることが望ましいと考える
- ・公共施設の跡地を活用して新たな施設を造ったらどうか（提案）
- ・外には緑（木々）やベンチ、日陰になる場があると常に人が居られる場所になるのでは

## 5 予算

- ・飯田市の予算だけでは限界があるので、県立のホールを誘致できないか  
（昔、誘致活動をしたこともある）
- ・要望を全て実現することは、予算の制約もあるため難しいのではないかと

## 6 管理運営について

- ・建物を造ることと同様に会館の運営についても考えてほしい  
（管理運営も同時に検討することが大切）
- ・初心者や子供の参加促進のための取り組みが重要
- ・異なる世代の人々が参加できる場が必要
- ・ディレクターやプロの方に協力して頂き、イベントをまとめる力が必要  
（コーディネート力が重要）
- ・地元には芸能関係や芸術関係の人々がたくさんいるので、繋がりを生かすことは可能
- ・文化会館で交流が起きると、外で踊ったり、音楽を楽しんだりできる機会が増える
- ・新しい施設で音響や場所を提供して頂ければ、様々な催し物もできる

## 7 駐車場

- ・大きなイベント時の駐車場不足の問題解決を希望
- ・分散していてわかりにくい現状を改善して欲しい
- ・駐車場が広いことは良いが、広すぎて館が遠くなるより、一部は立体駐車場があったり、シェア駐車場（近隣の商店や事業所と貸し借りする）を活用したりすると相乗効果もあるのではないかと

## 8 その他

- ・設計にホールの専門家を入れて欲しい
- ・鼎文化センター（ホール）に音響反射板が欲しい（合唱団体の要望）
- ・以前に合唱の先生が音楽ホールの建設要望書を出されたので、その意見を生かして欲しい

## 【開催日ごとの記録】

記録：① R5.7.11 13:30～14:30

主催者側： 6人（文化協会 1、文化会館 5）

出席者： 4人（2団体※合唱 3人、マジック 1人）

### 【主な意見】

- ・飯田市の予算だけでは限界があるので、県立のホールを誘致できないか  
（昔、誘致活動をしたこともある）
- ・規模と設備に満足する施設を作って欲しい
- ・音響やステージの拡張なども考慮して欲しい
- ・興行向けの大きな施設も必要
- ・駐車場不足の問題も解決して欲しい（現状は棚田のような駐車場）
- ・ステージとモニターの機能強化を希望  
（舞台と控室等楽屋にモニターがあって運営できる環境を整えて欲しい）
- ・建設は、適切な場所を工夫して決定して欲しい
- ・提案：公共施設の跡地を活用して新たな施設を作る  
（具体的には東中の土地を利用する）
- ・備品の使用料も公平に設定して欲しい（団体によって差があるのは不公平）
- ・中途半端なものは不要、立派な施設にして欲しい
- ・飯田らしい文化会館に（景色や空気などの外の環境を内部に取り入れられるように）
- ・県文化センター（ホール）の今後が気になる  
（合唱団体としては、県に音響反射板が欲しい 旧市公民館と同様に）
- ・プロを呼べる舞台の存在が重要である  
（外から来てもらっても恥ずかしくないように）
- ・施設の改善と駐車場の整備が必要
- ・伝統芸能など地域のことがわかるようなコーナーがあるといい
- ・豊かな自然を感じられる立地
- ・設計にはホールの専門家を入れて欲しい
- ・以前に合唱の先生が音楽ホールの建設要望書を出されたので、その意見を生かして欲しい

記録：② R5.7.11 19:00～20:30

主催者側： 5人（文化協会 1、文化会館 4）

出席者： 6人（5団体※ダンス 1人、ミュージカル 1人、合唱 2人、舞踊 2人）

【主な意見】

- ・これまでの文化会館（運営などソフト的な部分）に感謝
- ・音楽に適したホールの建設を希望する（ゆとりのある座席、音響）
- ・子供の音楽会や吹奏楽の練習に利用されることが多い（コンクールも開催）
- ・色々な人が交流できる場の充実を希望する
- ・ホールの利用後に交流の場も大切である
- ・楽屋や控え室や会議室の充実も希望する
- ・技術的なアップや達成の場も必要
- ・ダンススタジオのような練習室を希望する（多岐にわたるジャンルのダンスの練習）
- ・現在の文化会館の部屋（展示室、会議室）はダンス系には不向きと感じている  
（床の硬さや、広さ）
- ・ダンスには、床まで見える鏡が必要
- ・練習の時に自分たちで使える（接続できる）音響設備を希望する
- ・大きな音でも他の人に迷惑がかからない防音施設が欲しい
- ・社会人は、22時完全撤収では早いという声もある
- ・民間のスタジオも増えてきたが、運営は大変であり、民間と行政との役割分担も必要
- ・行政も場所を提供し、市民にとって利用可能な場所（選択肢）が増えることが重要
- ・舞台機構の充実が必要（奥舞台が必要）
- ・ゆったりした客席を希望する
- ・定期的な公演も観に来やすい場所が良い
- ・飲食スペースや展示スペースも欲しい
- ・舞台（ステージ）にお金をかけて欲しい
- ・これまでの飯田文化会館では、発表活動に限界を感じ、他の劇場を探してきた  
（ミュージカル）
- ・宝塚歌劇団や劇団四季に連絡し、地方公演を頼んだが、文化会館は設備不足のためミュージカルに適さないことがわかり失望している
- ・自ら動いて公演を行い、ファンや観客との触れ合いを楽しみにしている
- ・飯田で活動することに制約があるため、東京や他の地域にも行きたいと思っている
- ・ピンマイクの本数の制限も不満がある（周波数など）
- ・県文化センターでは、携帯電話の制限などをして14台を使ったことがある

- ・現在、指導している子供たちは才能があり（原石）、劇団四季などにも出演している
- ・ワークショップや交流を通じてコミュニケーションを図りたい
- ・今の文化会館の改修は難しいが、新しい文化会館の役割に期待する
- ・地元で楽しいことや新しいことを続けるために、文化芸術の力を活用したい
- ・人口減少の時代であるが、地域振興に文化芸術が役立つと考える
- ・地元には芸能関係や芸術関係の人々がたくさんいるので、繋がりを生かすことは可能
- ・これまでも、文化会館ではオケ友のクリニックやワークショップ、勉強会、体験会などが開催されているが、これらの場に参加することで参加者同士が繋がり、素晴らしい成果が生まれる可能性がある
- ・文化会館で交流が起きると、外で踊ったり、音楽を楽しんだりできる機会が増える
- ・新しい施設で音響や場所を提供して頂ければ、様々な催し物もできる
- ・フリーマーケットや交流イベントを定期的で開催すると良い
- ・異なる世代の人々が参加できる場を計画したい
- ・ディレクターやプロの方に協力して頂き、イベントをまとめる力が必要  
（コーディネーター力が重要）
- ・現在の文化会館で外のプロの方を呼ぶ際に、半年以上前の予定ができないことに課題を感じている（プロの方を早めに手配する方法を考える必要がある） 現在は1年前の予約が難しく、半年先まで予約が一般的
- ・コーディネーターが催し物の重要な役割を果たす
- ・初心者や子供の参加促進のための取り組みが重要
- ・学校の部活動を地域に移行する可能性について考えることも必要
- ・コンサート後の交流や感想を共有できる場の必要性を感じる
- ・イベント時だけでなく、立ち寄ることができる施設、滞在できる空間が欲しい
- ・出入口が開放的で入りやすい施設を希望

記録：③ R5.7.12 10:00～11:20

主催者側： 6人（文化協会 1、文化会館 5）

出席者： 5人（5団体※合唱 2人、楽器(吹奏楽) 2人、舞踊 1）

【主な意見】

- ・新しい文化会館に関して、建物を造ることと同様に会館の運営についても考えてほしい（管理運営も同時に検討することが大切）
- ・最近、借りにくくなったのではないかと思う（昔と設備利用料の説明が違う？）
- ・音楽の響き方が重要であり、使いやすさと音楽的なレベルのバランスが必要

- ・東京の人たちは機能性の高いホールを選ぶ傾向がある（質の高いホール）
- ・外からの来場を促進するためには魅力的な施設づくりが必要
- ・舞台には「花道」や「せり上がり」が必要（国立劇場の例から）
- ・浅草公会堂での舞台（打ち合わせ）の経験から、リニアで東京が近くなっても飯田で公演するメリットはあまり感じられないと思う
- ・舞台の設備や照明の充実が重要（特に照明）
- ・キャンセル料や利用料金についても検討が必要と思う（飯田文化会館を利用した経験から、予約2日後でもキャンセル料を支払った）
- ・一流の歌舞伎などを呼ぶには、良い舞台が必要
- ・国立劇場や浅草公会堂の舞台裏は広く、スタッフや出演者に使いやすい
- ・舞台の広さは重要で、舞台裏が広いことも必要
- ・客席の大きさや数についての具体的なイメージはないが、国立劇場で鑑賞したときは、比較的小規模のホールであったと思う
- ・（利用者の立場から）小劇場の舞台は使いやすい
- ・飯田、下伊那の良さやをアピールする会館になって欲しい
- ・将来的にはレストランやテナントが入る会館を検討してほしい
- ・魅力的な要素があれば、観客や地元の人々も利用できる
- ・県内外からの来場者にとって、文化会館が魅力的な場所になることが望ましい
- ・文化会館などの施設にはレストランやテナントが入れば、利益の確保に繋がる可能性があり、休憩にも利用できる場所があると良い
- ・文化会館には自然の美しさと共に外での憩いも提供できる場所があると良い
- ・現在は、開館当時に比べて、文化会館や周辺の魅力が減っていると感じている
- ・50年程前、結婚式の披露宴を文化会館で行った経験がある
- ・飯田は、子供たちが遊びに行ける場所や街の魅力に欠けていると感じている
- ・景色がいいレストランがあったらいい
- ・防音をしっかりして欲しい
- ・若い人たちがアプローチしやすい施設にすることが必要
- ・ストリートピアノが出来る野外ステージ、若者が歌える場があったらいい
- ・教育的な目的を持った活動の場所となったらいい
- ・多目的ホールの設計には懸念がある（音楽の専門の立場からとしては、多目的は無目的となる恐れがある）
- ・多目的ホールとして大ホールは多くて1500人の客席と考えるが、音楽を発表する立場からすると300～500席のホールも欲しい

- ・舞台は、非日常の場所であり、子供たちにとって想像力を育む場所となるため、発表のための質の高い小ホールが必要
- ・ピアノの発表会に適した音楽向きの小ホールが必要
- ・小規模のレッスンや練習に使えるスタジオも欲しい
- ・現会館は舞台裏のスペースが狭い
- ・飯田市公民館のムトスぷらざで講演会が開催され、同時に録音をする発表会が行われた 私たちのより後から入った講演会が優先され、発表会は別の入口から入ることになったり、音出しに配慮するように言われた 今後はムトスぷらざを使わない可能性がある
- ・ムトスぷらざの多目的ホールは利便性や外部からの招聘の視点が欠けている
- ・ニュースレターのVol.4のイメージ図に惹かれる ホールの周りのスタジオや利用価値のある空間があると良いと考えている
- ・地元の特産品やショップの設置、子供連れでも利用しやすい環境づくりも望ましい
- ・親子で鑑賞できる部屋（ガラスで仕切られて子どもの声がホールに伝わらない工夫）
- ・施設に子供が遊べるスペースや子育て支援のための機能があると良いと思う  
（子どもの情操教育にもなる）
- ・飯田文化会館は主に吹奏楽の金管アンサンブルの活動に利用しているが、文化会館のイメージは音楽が主の活動であると感じている
- ・他のジャンルの音楽活動や文化活動をもっと取り入れるべきではないかと思う
- ・会館の機能として周りに公園を作るなど、他の先発のホールから学べる点はあると考える
- ・飯田文化会館は50周年であり、他のホールに比べると設備機能は劣っている
- ・具体的な改良点には思い浮かばないが、音響面や設備面の充実を希望する
- ・人が集まるための特別な空間であってほしいと思う
- ・新しいホールは最新の技術の進歩に合わせたものになるべきだと考える
- ・他の会館も利用しているが、現文化会館は音楽的に使いにくいと思ったことはない  
（県内の他のホールでは響き方などの強い癖を感じたことがある）
- ・全てのジャンルの活動を文化会館が一手に担うのは難しいのではないか

記録：④ R5.7.12 19:00～× ※参加ゼロ

主催者側： 6人（文化協会 1、文化会館 5）

出席者： 0人（ ）

記録：⑤ R5.7.20 19:00～20:22

主催者側： 5人（文化協会 1、文化会館 4）

出席者： 5人（4団体※合唱 1人、演劇 3人、ダンス 1人）

【主な意見】

- ・ダンスの発表では、リハーサルや（男女別の）衣装着替えに困っている
- ・会議室のような（広い）部屋でリハーサルができると便利
- ・その場合、鏡や床面の整備が必要となる（ダンスは床にリノリウムを敷く）
- ・舞台裏がないと演出（表現）も限られるので、十分なスペース（袖、裏）を希望する
- ・劇場のステージの広さは大丈夫だが、舞台裏が不足している（ダンス）
- ・ダンスは防音対策が必要（他の部屋への配慮） 何人もが同時にステップを踏むと、階下等に響く大きな音が出る 床の堅さ以上に重要であると考えている
- ・ダンスの練習には鏡が必要
- ・現文化会館のホールは、私たちの演劇団体には少し広すぎる 人形劇場も使うが少し小さく、鼎の文化センターのホールか旧市公民館のホールがサイズとして使いやすい
- ・吹奏楽など他のジャンルにとっては現文化会館のホールは必要な大きさだと思う
- ・人形劇場など規模の小さな劇場も便利で活用されている（演劇）
- ・現在の文化会館の会議室や展示室でも舞台を作り、客席を設置して上演することができるので、新しい会館にも多目的に使える部屋は必要（演劇、人形劇）
- ・人形劇も舞台を気軽に作れる環境があれば、催し物がより多様な空間で行える可能性がある
- ・どの活動団体も稽古場や舞台と同じ広さのリハーサル室を必要としていると感じる
- ・各団体の要望を受け入れつつ、文化会館の位置づけを明確にする必要があるのでは
- ・丘の上の活性化やまちづくりについても一緒に考えるべき
- ・要望を全て実現することは、予算の制約もあるため難しいのではないか
- ・今回のように要望や意見をたくさん聞いても、市民ががっかりするような状況になるのではないか
- ・賑わいのある「文化のまち」にするために演劇、合唱、吹奏楽などのジャンルに限定せず、もっと広い視点で考える必要があるのではないか
- ・伊那市にある長野県伊那文化会館は大きくて立派な建物だが、地元の市民団体にとって、使いにくいという意見がある（業者への委託による照明などの舞台対応や使用料など）
- ・市民が使いやすい施設にすることが重要である
- ・まちの活性化を促す建物としては、丘の上に造ることが望ましいと考える

- ・使用料や施設の利用制限により、使いにくさにつながる場合がある
- ・現在の文化会館に大きな不満はないが、これまでのアンケート結果や意見を反映すればさらに良くなるのではないかと期待している
- ・少人数の演劇団体として文化会館を利用しているが、人形劇場の大きさは小劇場として使いやすい 舞台裏や袖は狭いが、客席数は小劇場として使いやすい
- ・新しい小劇場や広い舞台スペースとなることを期待している（演劇）
- ・伊那谷文化芸術祭や人形劇フェスタ、オケ友などのイベントがきちんと継続できることが重要であり、そのことに関心がある
- ・丘の上の学校や保育園でも子供の数が減少していて、空き教室が増えている状況であり、子どもから高齢者までが利用できる複合的な施設を作ることも必要ではないか
- ・丘の上には文化的な施設が集積されているのでそれらを活用しないのはもったいない
- ・様々な公的な施設がある場所で、お年寄りや子どもが集える場所や音楽会が開かれる場所など、文化の香りがする環境が望ましい
- ・市として丘の上を盛り上げる方法を真剣に考える必要がある
- ・文化会館は複合的な施設になると使いやすく人が集まる可能性がある
- ・学校施設や子供たち向けの施設との連携も考えられる
- ・複合的な施設の例として、カフェやレストランの併設が考えられる
- ・図書館を併設して、人形浄瑠璃等の伝統芸能の資料や映像が見られると良い
- ・館内に工作室を設けて、「創る」ことを支援することが大切
- ・過去には、演劇宿でプロの先生たちが舞台演出や舞台装置を手伝ってくれた（工作室ができるきっかけとなった）
- ・工作室は舞台製作のために必要であると感じた

-----

[会議に出席できなかった団体からの意見]

- ・常にイベントがなくても、みんなが集える場、憩いの場になったら良い
- ・売店、飲食店もあると利用しやすい
- ・外には緑（木々）やベンチ、日陰になる場があると常に人が居られる場所になるかも
- ・駐車場が広いことは良いが、広すぎて館が遠くなるより、一部は立体駐車場があったり、シェア駐車場（近隣の商店や事業所と貸し借りする）を活用すると相乗効果もあるのではないか
- ・子どもたちが行きやすい場所につくって欲しい
- ・トイレは大切 日本武道館とかハイウェイオアシスみたいなトイレが望ましい
- ・出演者のために、舞台の周り（袖、裏、通路）のスペースを充実させて欲しい